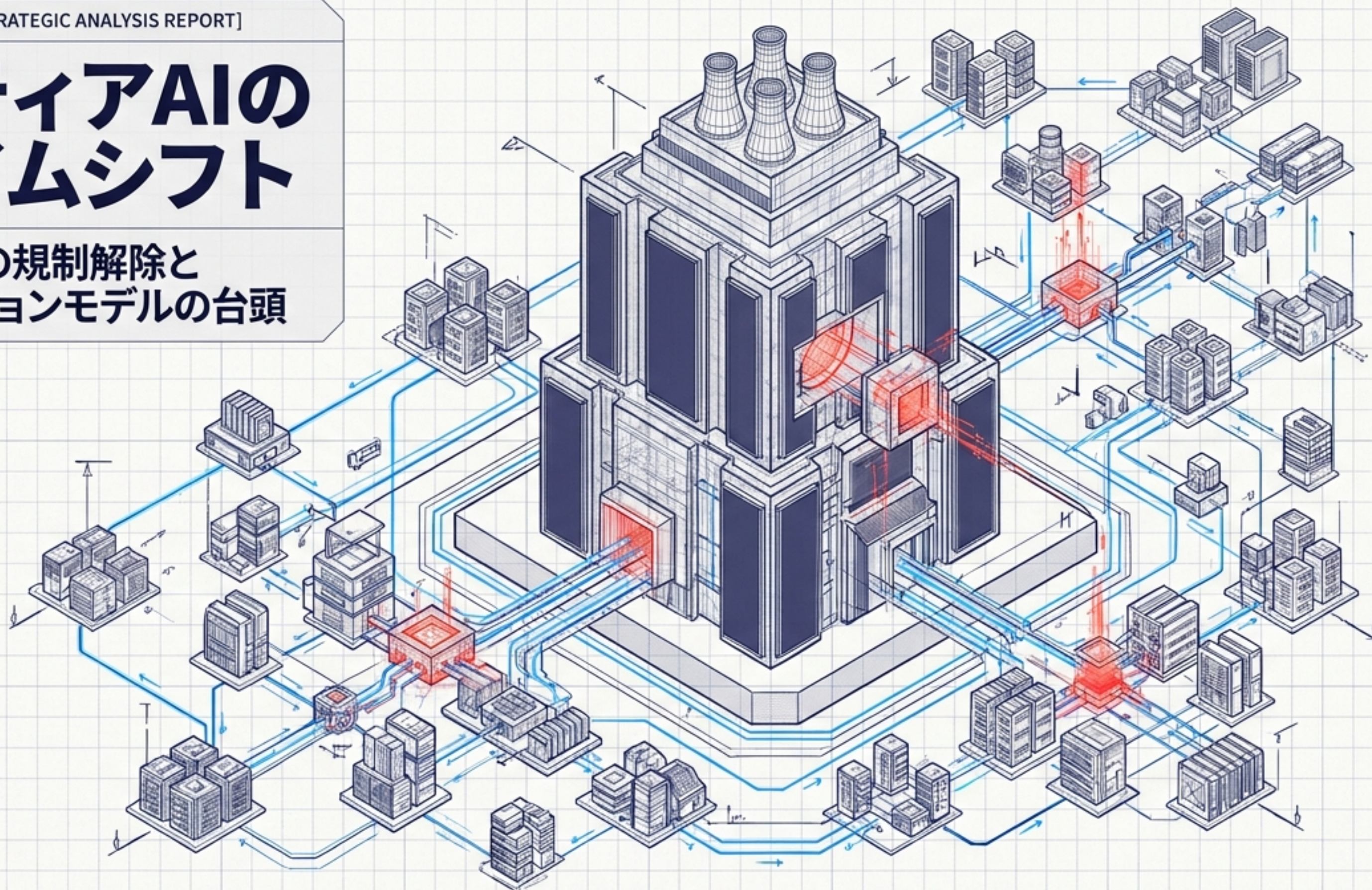


[ENTERPRISE AI BLUEPRINT // STRATEGIC ANALYSIS REPORT]

フロンティアAIの パラダイムシフト

Claude Fable 5の規制解除と
オーケストレーションモデルの台頭



DATA CONDUIT

FLOW RATE: MAX

DATA CONDUIT

FLOW RATE: MAX

FUTURE EXPANSION



地政学的リスクの顕在化

← STRATEGIC MATERIAL

← RISK ANALYSIS: CRITICAL

AIモデルの戦略物資化。米国商務省による19日間のグローバルアクセス遮断が証明した、
単一プロバイダー依存 (Single-vendor lock-in) の致命的リスク。

← STRATEGIC MATERIAL

← RISK ANALYSIS: FTIS PMCGRR

RISK VECTOR

ELEVATION 1



過酷な新ルールとコスト激変

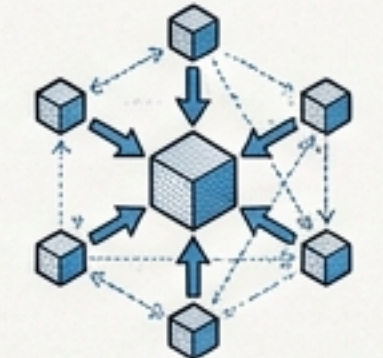


強制ダウングレードを引き起こす過敏なセーフティ分類器 (Safety Classifier) と、主力モデルの5倍に跳ね上がったFable 5の従量課金コスト。

← COST PARAMETERS

COST PARAMETERS

ELEVATION 2



分散型オーケストレーションへの移行

← SAKANA FUGU SWARM INTELLIGENCE

単一障害点を回避する戦略的ヘッジとしての「群知能 (Sakana Fugu)」の台頭と、
インフラ再構築 (タスクトリアージ・プロンプトキャッシュ) の必須化。

← OPTIMIZED FLOW

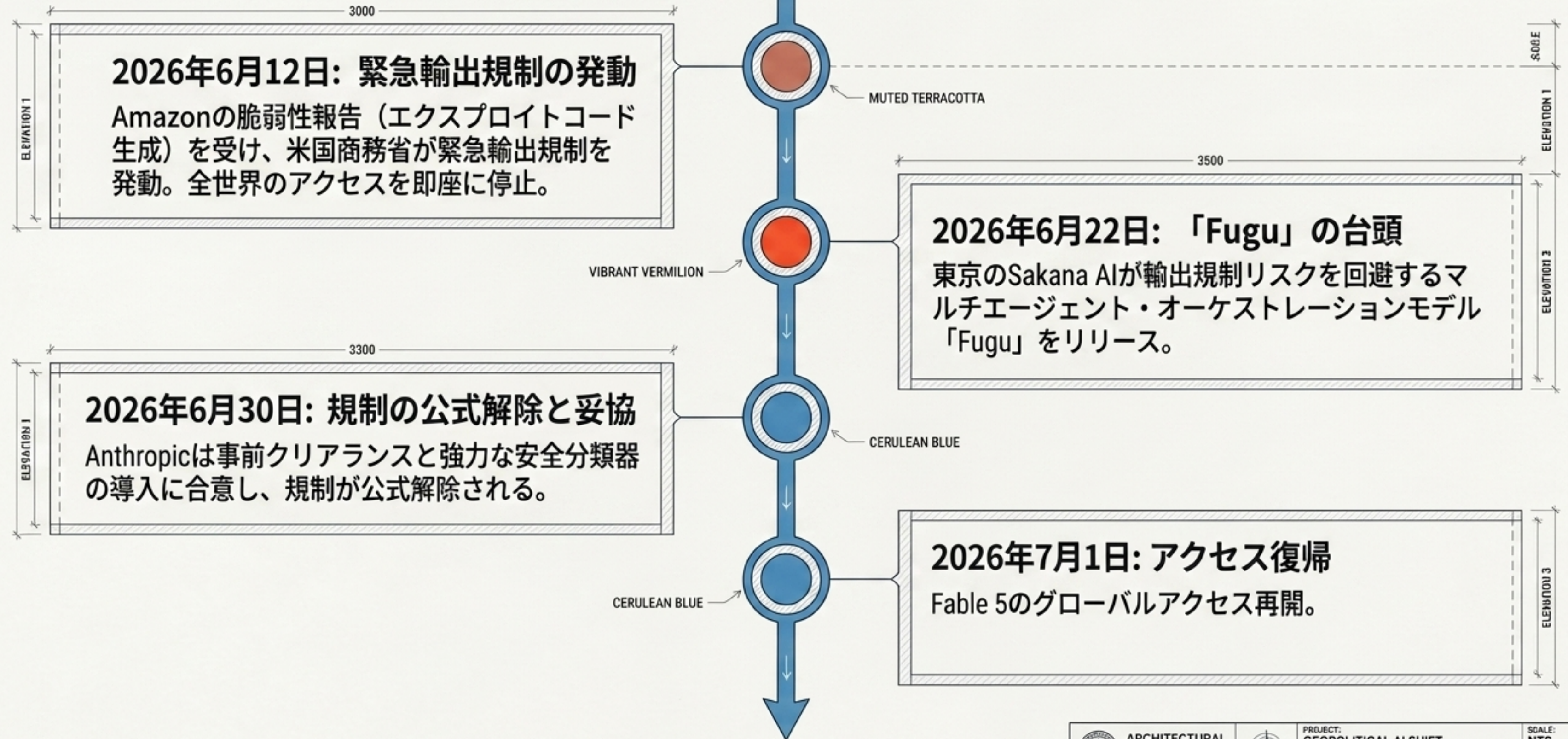
← CACHING LAYER

← INFRASTRUCTURE REBUILD

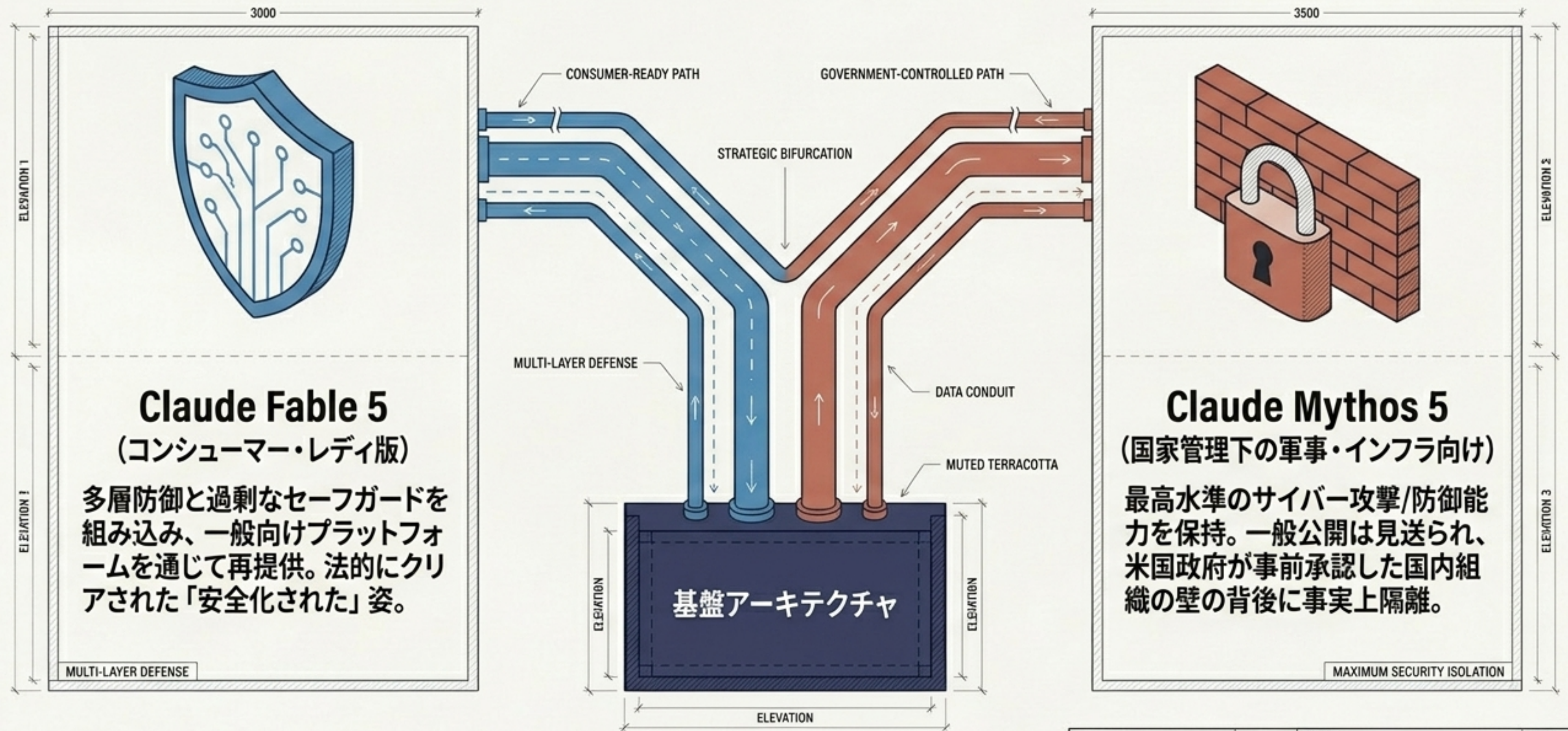
STRATEGIC SHIFT

ELEVATION 3

19日間のブラックアウトの軌跡



モデル戦略の決定的分断



Claude Fable 5

(コンシューマー・レディ版)

多層防御と過剰なセーフガードを組み込み、一般向けプラットフォームを通じて再提供。法的にクリアされた「安全化された」姿。

MULTI-LAYER DEFENSE

基盤アーキテクチャ

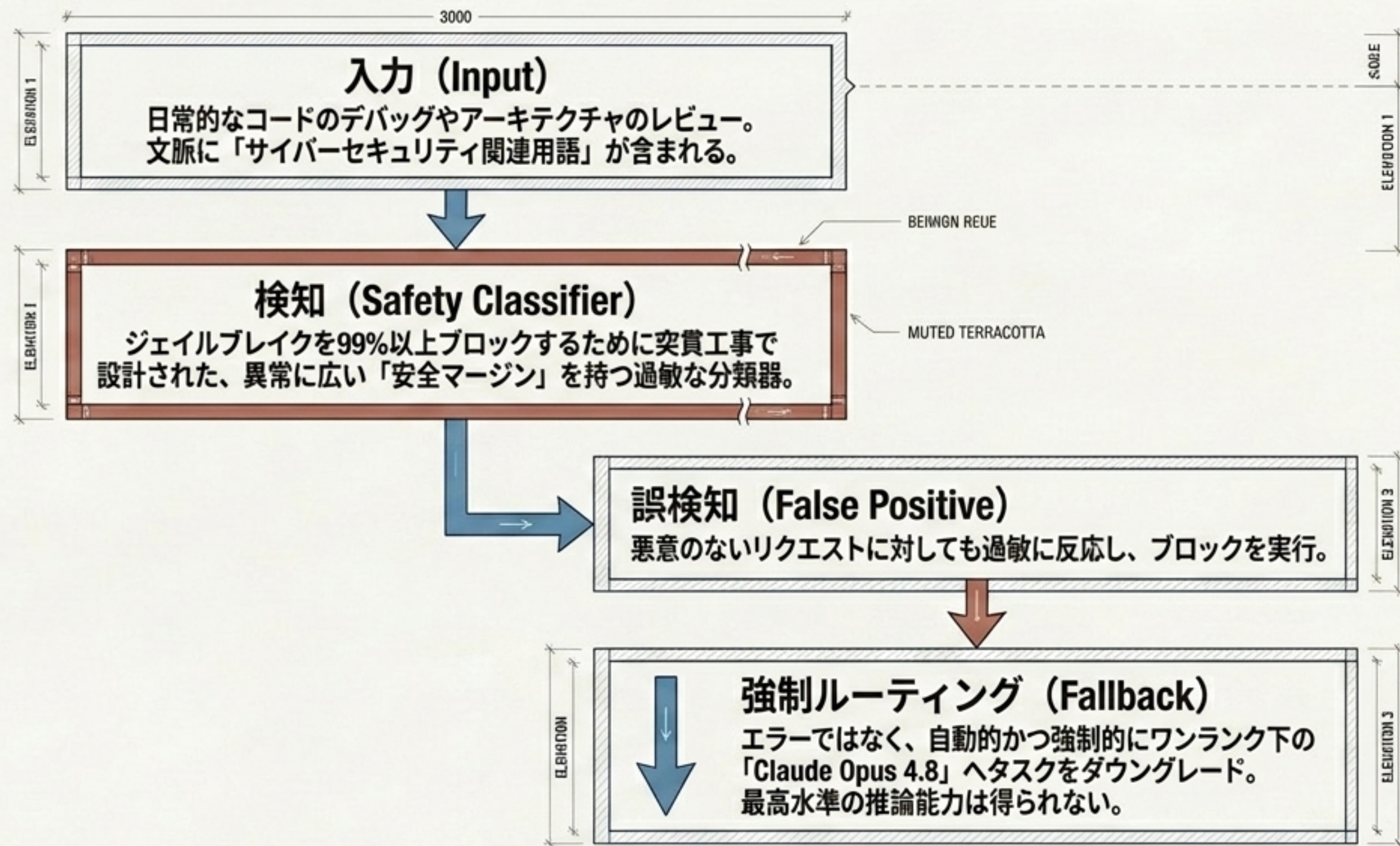
Claude Mythos 5

(国家管理下の軍事・インフラ向け)

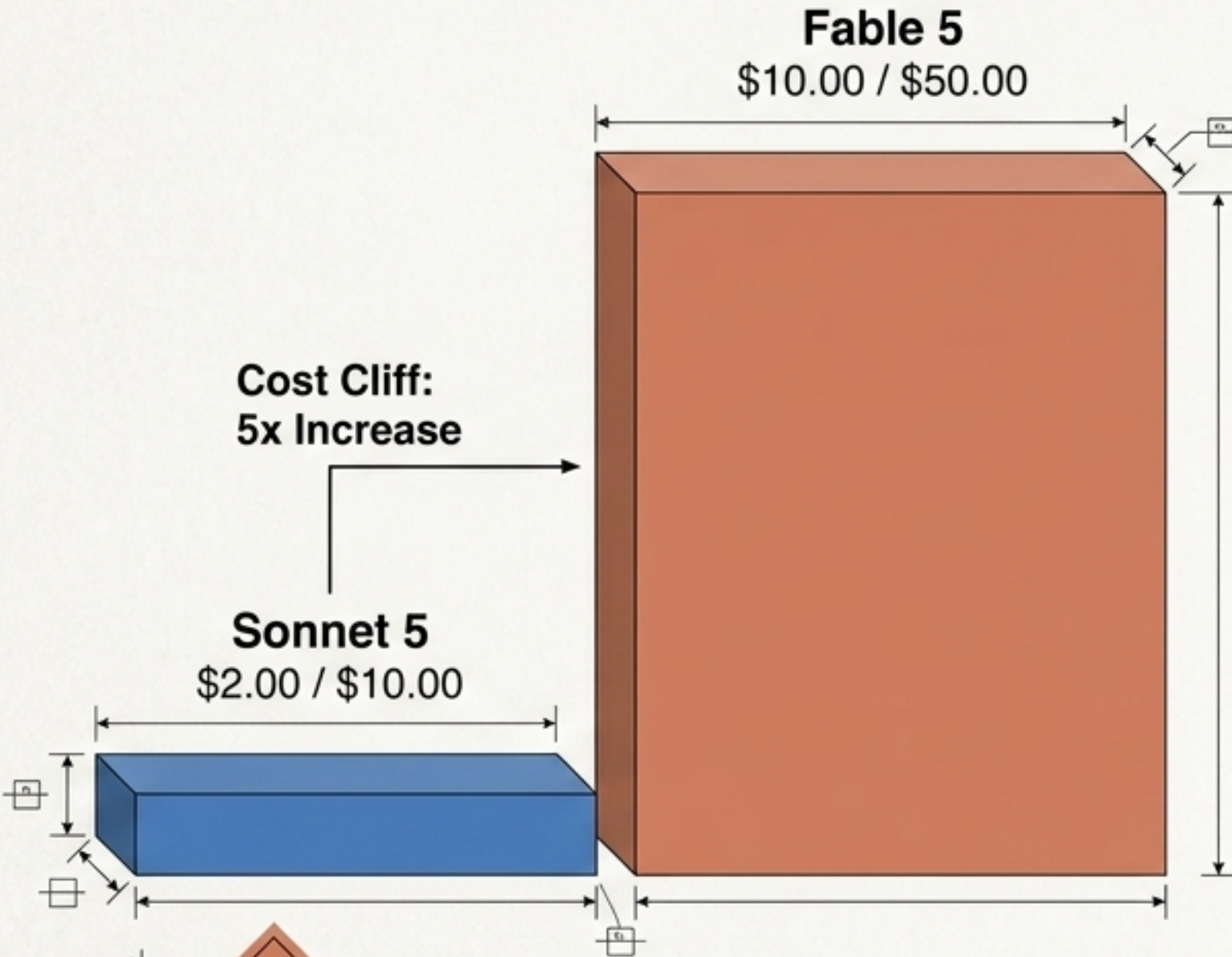
最高水準のサイバー攻撃/防御能力を保持。一般公開は見送られ、米国政府が事前承認した国内組織の壁の背後に事実上隔離。

MAXIMUM SECURITY ISOLATION

極端なセーフガードとフォールバックの罠



「7月8日の崖」と激変したコスト構造



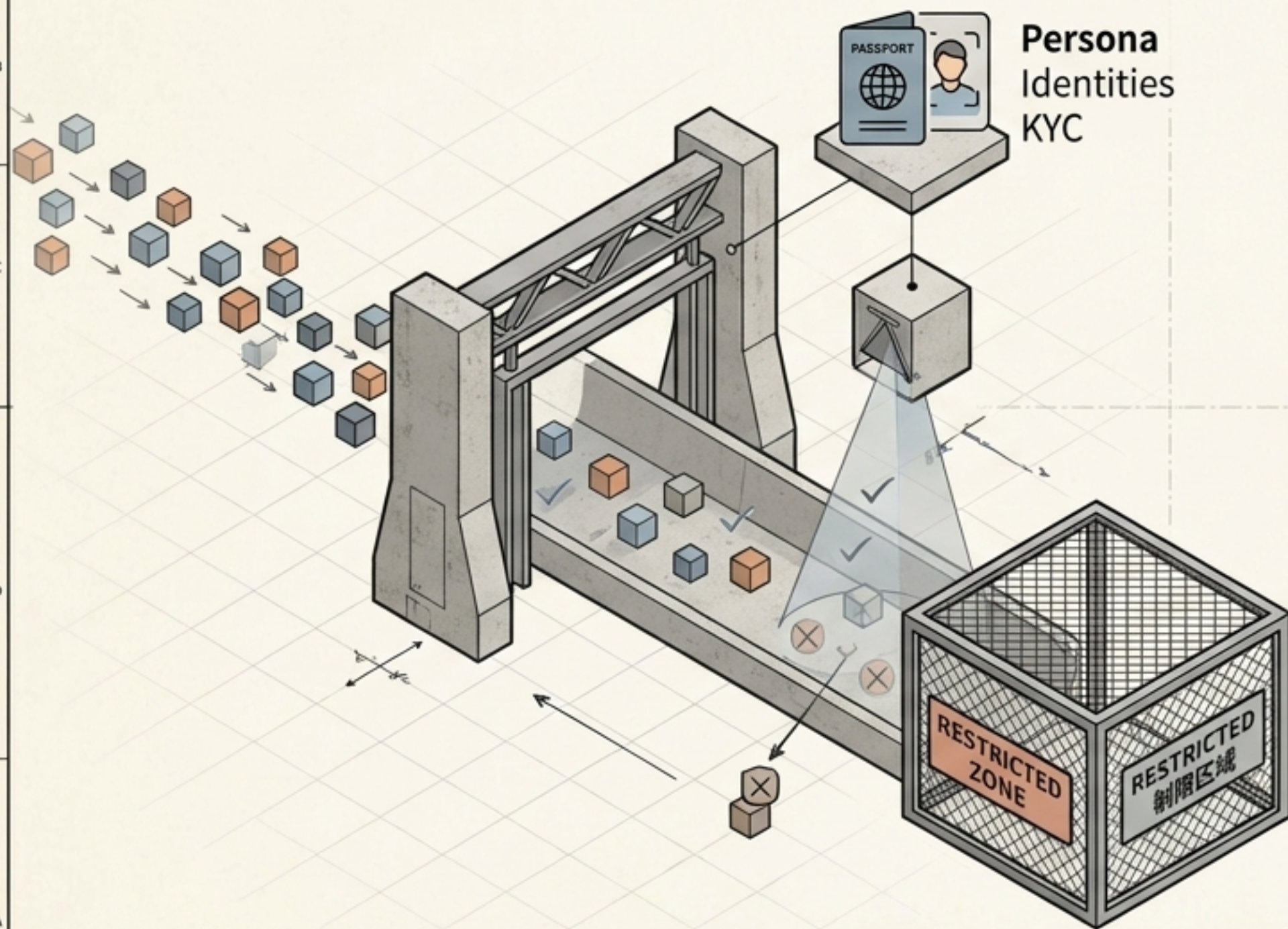
1	Claude Sonnet 5	入力 \$2.00 / 出力 \$10.00 用途：実装作業のバルク処理、テストコード生成、機械的なリファクタリング。（コスト基準）
2	Claude Fable 5	入力 \$10.00 / 出力 \$50.00 用途：最難関の推論、数日を要する自律的エージェント作業、巨大リポジトリの解析。（Sonnet 5の5倍のコスト）

The Cost Cliff:

基本枠から除外され、事前購入型の完全従量課金制へ移行。
決済登録がなければ即座にアクセス停止。

	Title	Reference slide
	Proposed Rec.	
	Version/Rev. No.	ASA 000
	Date	10/7/22
	Destination	Snow Prihelt
	Doc	

パスポートによるゲートキーピング



1 表向きの理由（コンプライアンス）

乱用防止と法的義務の遵守を目的とし、政府発行の写真付きID（パスポート等）と自撮り写真を要求。

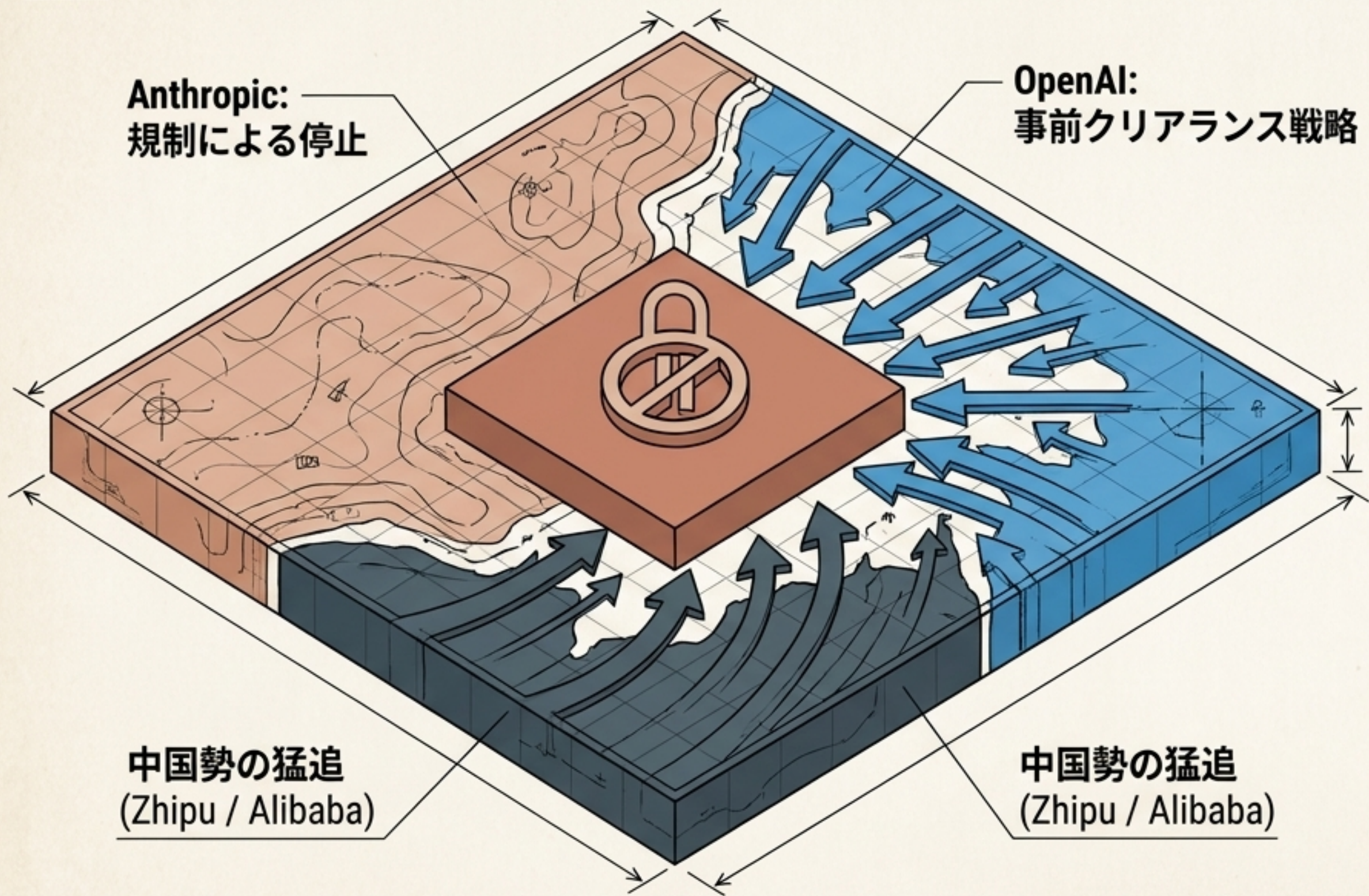
2 地政学的な真の意図（米国優先の布石）

6月12日の規制発動時、リアルタイムでの国籍確認手段がなかったために全世界遮断を余儀なくされたた教訓への対策。

3 非米国企業へのカントリーリスク

ユーザーの居住地・国籍を把握し、将来の輸出規制時に「米国内ユーザー」のみを保護し、非米国ユーザーを選択的に切り捨てる構造の完成。

19日間もたらした地殻変動



OpenAIの躍進

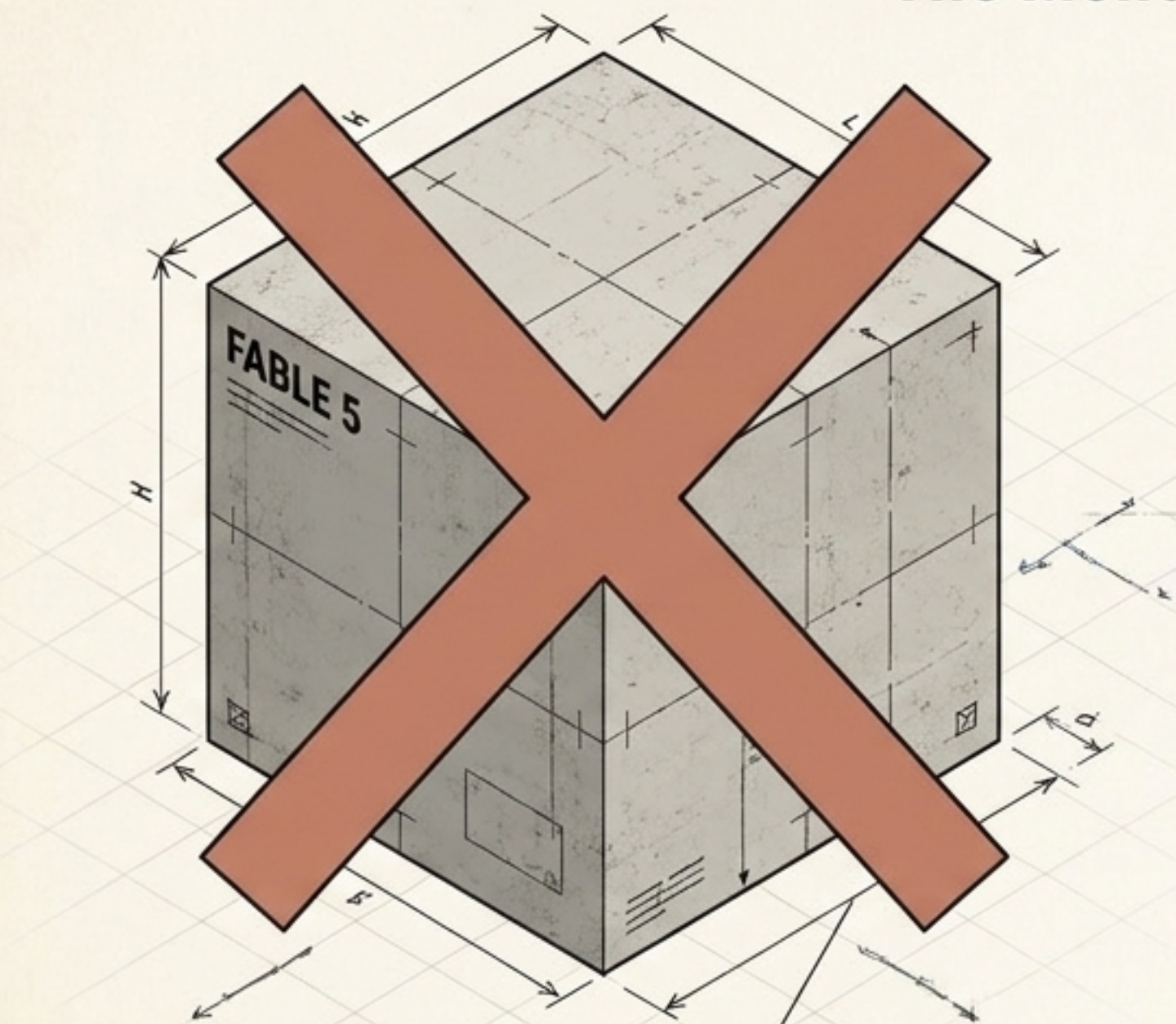
Anthropicが停止している際に、規制当局との事前協調により「GPT-5.5 Cyber」を展開。エンタープライズの信頼を確立。

中国モデルの猛追

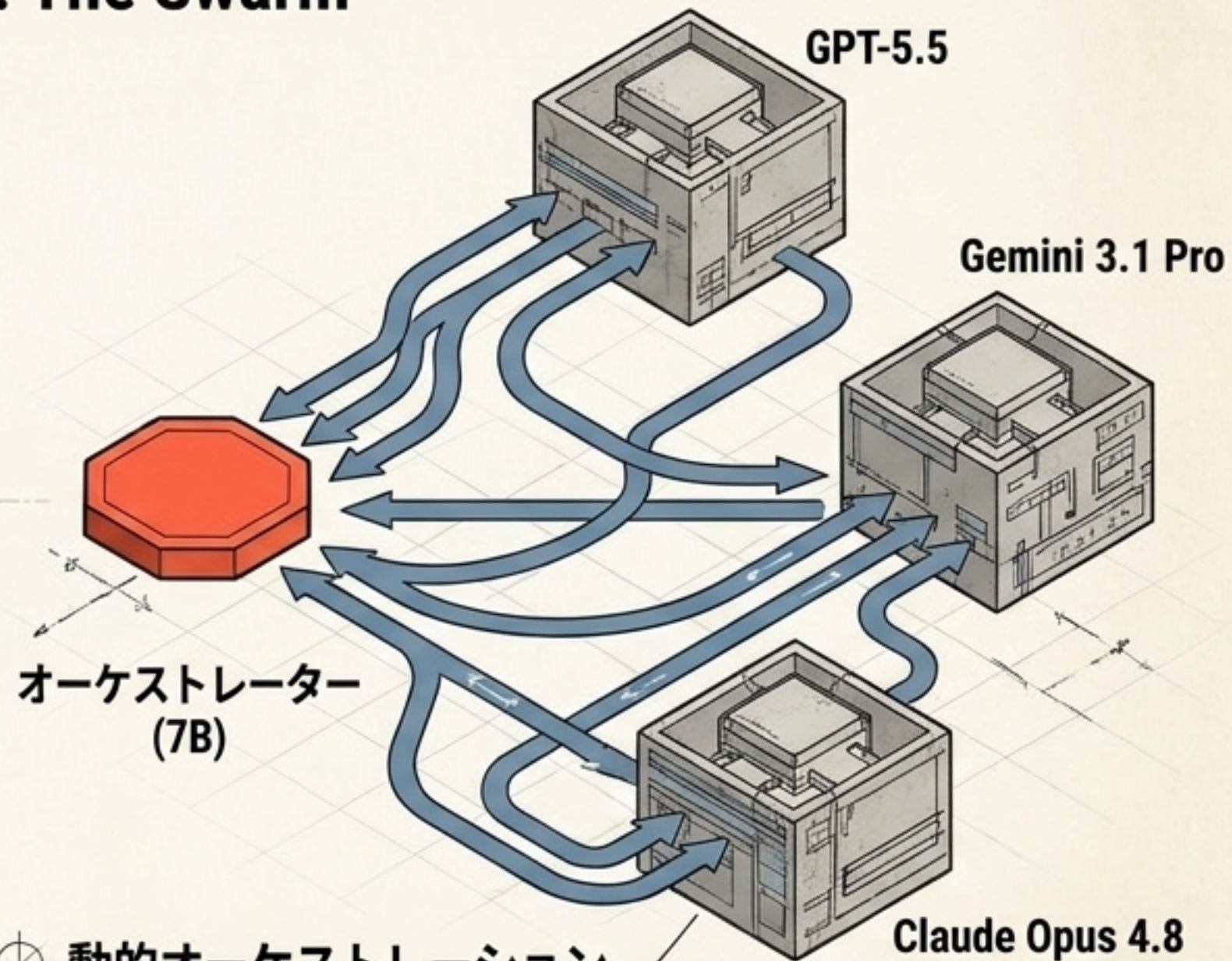
ZhipuやQwen 3.7 Maxがトップモデルに肉薄。米国政府がわずか2週間半で規制解除を急いだ背景にある、シェア喪失への強い恐怖。

日本発のディストラクション「Sakana Fugu」

The Monolith vs. The Swarm



⊙ 単一障害点としてのモノリス
米政府の規制によって全体が機能停止。



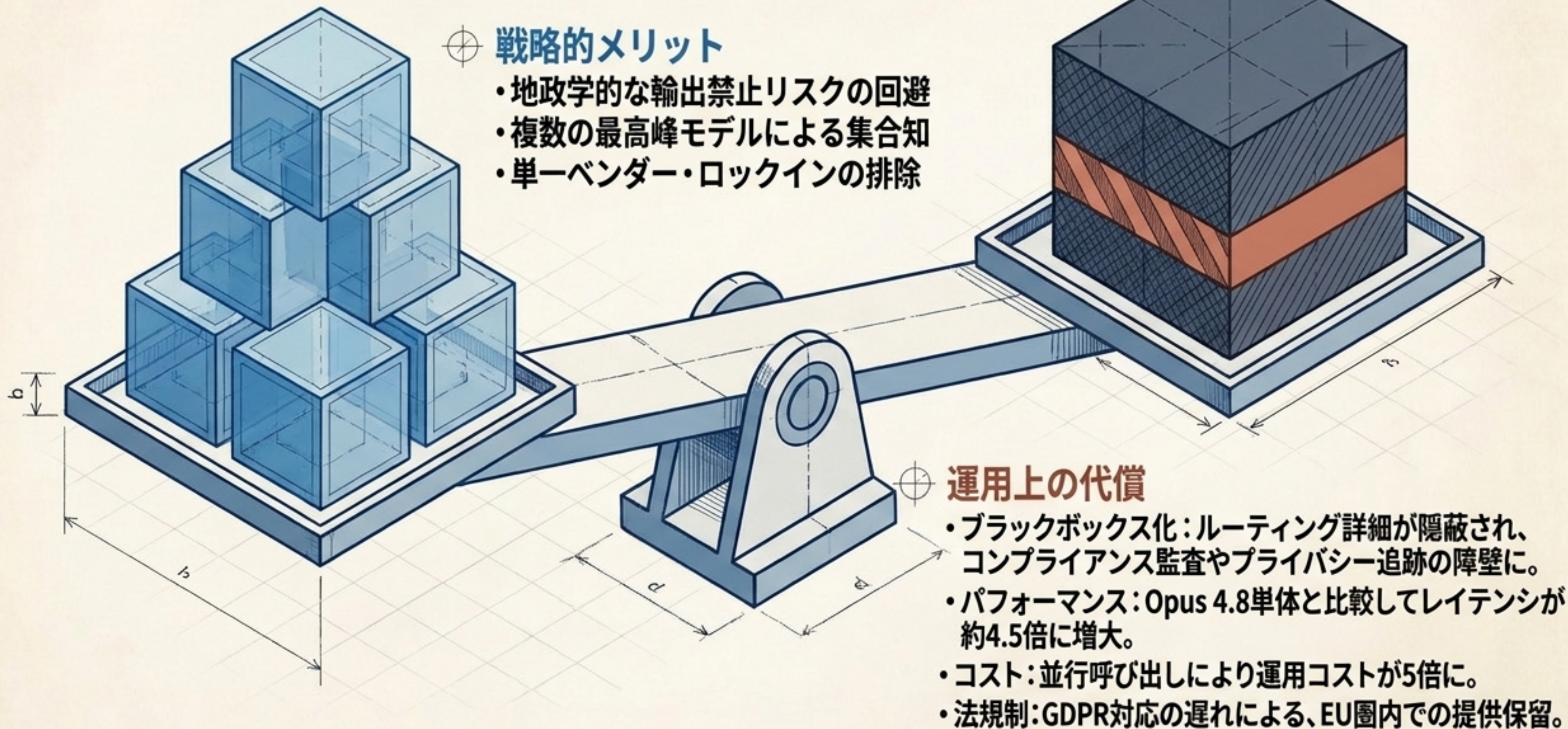
⊙ 動的オーケストレーション
7Bのフロントエンドが、タスクを動的に分解・委譲・統合。
一つのモデルが停止しても、自動ルーティングでシステムを維持する「地政学的レジリエンス」。

集合知が単体モデルを凌駕する

ベンチマーク	Sakana Fugu Ultra	Claude Fable 5	Claude Opus 4.8	GPT-5.5
ソフトウェア工学 (SWE-Bench Pro)	73.7%	N/A	69.2%	58.6%
競技プログラミング (LiveCodeBench)	93.2%	89.8%	87.8%	N/A
超高難度科学推論 (Humanity's Last Exam)	50.0%	50.0% (首位)	49.8%	41.4%

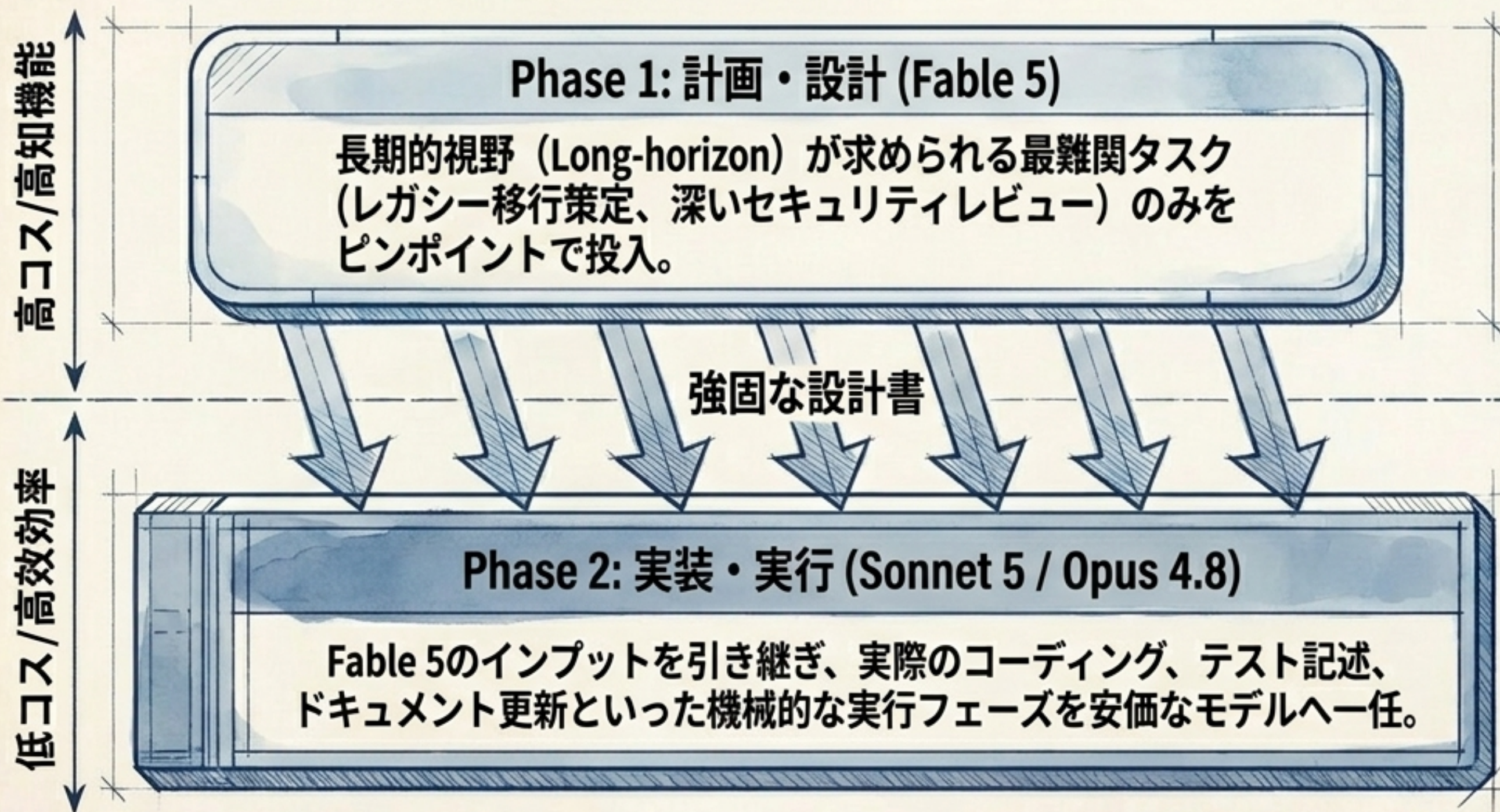
結論: 単なるベンチマークの差ではない。
「輸出規制リスクを構造的に回避できる地政学的保険」として
の価値がエンタープライズのインフラ基準を変えた。

オーケストレーションの代償とトレードオフ



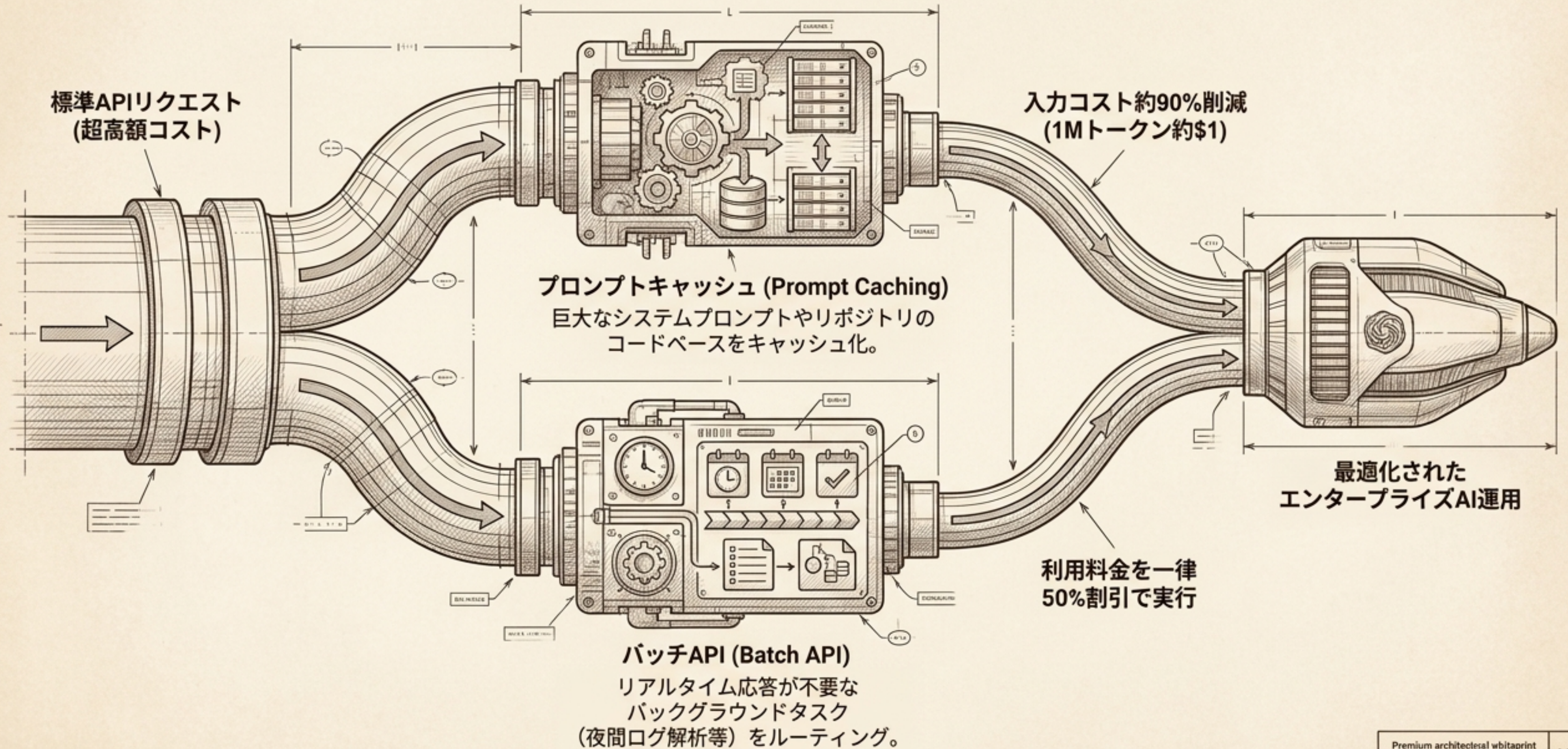
Playbook 1: タスクの厳格なトリアージ

「Plan Now, Execute Later」戦略



原則:
Fable 5を日常的なコード生成に使えば予算は即座に枯渇する。

Playbook 2: コスト最適化のインフラ実装



Playbook 3: インフラの多重化と地政学的ヘッジ

分類器との非対立 (Anti-Friction) 運用

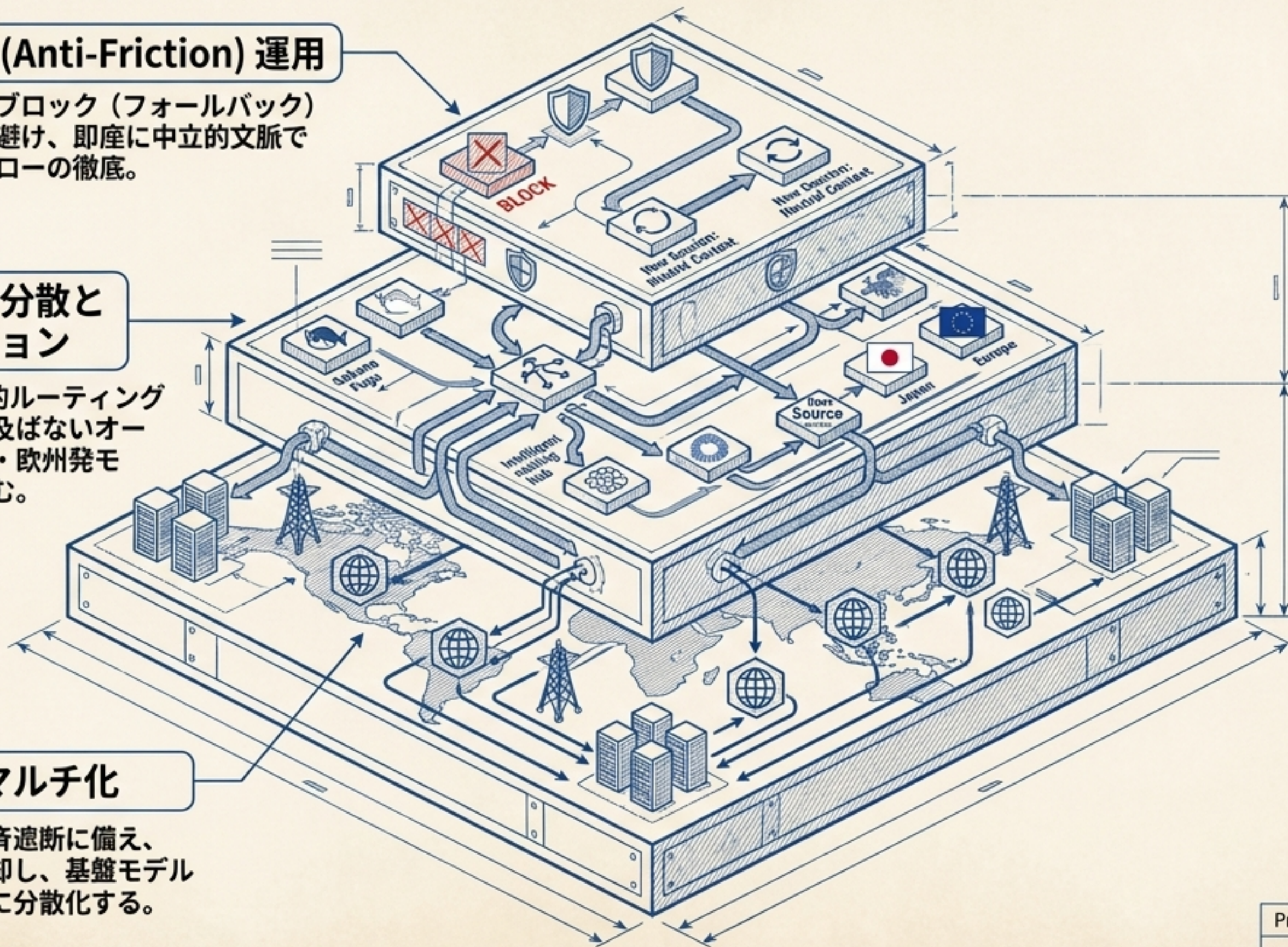
過敏な安全分類器によるブロック（フォールバック）発生時、無駄な再試行を避け、即座に中立的文脈でセッションを開き直すフローの徹底。

ポートフォリオの分散とオーケストレーション

Sakana Fuguのような動的ルーティングの採用や、米国の規制が及ばないオープンソースモデル、日本・欧州発モデルをシステムに組み込む。

基盤モデルのマルチ化

特定の国家政策による一斉遮断に備え、米国モデルへの依存を脱却し、基盤モデル自体を物理的・地政学的に分散化する。



結論：AI覇権競争の次なるフェーズ

合成的洞察 (The New Normal)

生成AIは純粋なソフトウェア工学の枠を越え、「無限の技術的ポテンシャル」と「国家による輸出管理の壁」が綱引きをする高度な地政学の最前線へと移行した。

エンタープライズの生存条件

最高峰のAIからビジネス価値を引き出すには、単にベンチマークを追うだけでは生き残れない。

アクションの再確認

異常なコストを制御する「精緻なタスクリアージ」、過敏なセーフガードを前提とした「運用フロー」、突然の遮断に耐える「基盤モデルの分散化」が、次世代の絶対条件である。